



どうして生協が裁判まで？

東海第2原発運転差止住民訴訟 4/27 第17回弁論期日

# わたしたち生協はどうして原発の運転差止めを裁判所に訴えてるの？

## 2011年の福島第一原発事故で

いのち育む食べ物が一瞬にして「いのちを傷つける放射能を発する食べ物」になることを思い知らされたこと。被ばくによって長期にわたって子どもたちの健康影響を心配しなくてはならないことになってしまったこと。

いったん原発事故が起きれば、この地にはほぼ帰れなくなる、避難で家族の中でさえバラバラになること、仕事もくらしもこわれてしまうこと、地域はなくなってしまうこと、人と人の関係がズタズタになってしまうこと、補償などあてにならないことを知ったこと。

2011年の原発事故も「たまたま」福島ただだけで、東海第二原発に津波が来てわたしたちも避難していたかもしれませんでした。福島第一原発から200kmも離れた私たちの地もホットスポットとなって汚染・被ばくしました。



↑住宅街から見える東海第二原子力発電所 日本一人口密度の高い中に立つ。半径 150km 圏内に関東地方が入る。

## 【2017年4月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
4.12 (水) 柏地区懇談会 4.13 (木) 流山地区懇談会 4.15 (土) 取手地区懇談会 4.18 (火) つくばみらい地区懇談会、つくば地区懇談会 4.21 (金) 我孫子地区懇談会 4.22 (土) 松戸地区懇談会、都留さんの歴史講座 4.23 (日) 作って食べようランチ会 (塩屋さん) 4.26 (水) 第12回理事会 4.28 (金) 利根地区懇談会、龍ヶ崎地区懇談会	4.15 (土) 甲状腺検診 (東葛検診 / 我孫子市) 基金 4.15 (土) 新柏香辛飯屋イベント  4.27 (木) 東海第二原発差止訴訟第17回弁論期日 (午後) 訴訟団集会

## いのち・食・地域はわたしたちの暮らしの基礎 原発運転差し止め住民訴訟

「いのち育む食と地域環境を大切にしよう」と常総生協に集まった私たちは、福島第一原発事故を目の当たりにし、二度と汚染と被ばくをしてはならないと2011年6月の総代会で決意しました。

こうして、生協から組合員・生産者の代表43名を原告として出し、地域の住民といっしょに原告団を結成して、「東海第二原子力発電所の運転を止めてください」と水戸地方裁判所に訴えを起こしました。

東海第二原子力発電所は1978年11月に営業運転を開始した古い原発で来年11月に「40年寿命」を迎えます。福島第一原発と同じ沸騰水型原子炉(BWR)です。1970年代に建設されたBWR型原子炉は11基ありますが、10基は廃止措置または事故による廃炉作業中(福島1-4号機)で、古い原発で残るのが東海

第二原発のみです。

しかし、日本原電株式会社は、世論や住民の様子を伺いながら、原則40年と決められた運転期間を、例外規定を使ってさらに20年延長して60年運転したいと国に申請しようと動き始めました。

ぜひ裁判の行方にも関心を寄せていてください。

2012年に提訴して今年4月27日には第17回目の住民原告側の主張弁論があります。裁判官は住民の様子、世論の動向を見ながら判決を書きます。

お時間ありましたら水戸地裁の「法廷」にも来てください。4/27(木)は午前中裁判で、午後から住民と弁護士さんでこれからの裁判展開についての集会も予定されています。

ごいっしょできる組合員・生産者は生協までご連絡を。

## 東海第二原発60年運転 何が危ないの？ 原告住民側の主な主張

### 日本一人口密度の中に立つ原発

30km圏内に94万人が生活する日本一の人口密度(福島第一原発周辺の8倍)。30km圏内に県庁があるところも東海第二のみ。150km圏内に東京が入り、この圏内の人口は世界一の水準。万一事故が起きれば住民の集団被ばく線量も世界最大に、避難規模も汚染規模も世界一となる。

いったん「早期大規模放出」になったとき、大規模な住民避難はそもそも無理。それでも避難しなければならない。30km圏内は再び帰ることはできないと覚悟しなければならない。水戸市などは、交通・物流の遮断の中で屋内で数日じっとしているとされるが食糧を含めてそれができるとは考えられない。東海村はおろか水戸市も帰還困難区域に。放射性廃棄物置き場、

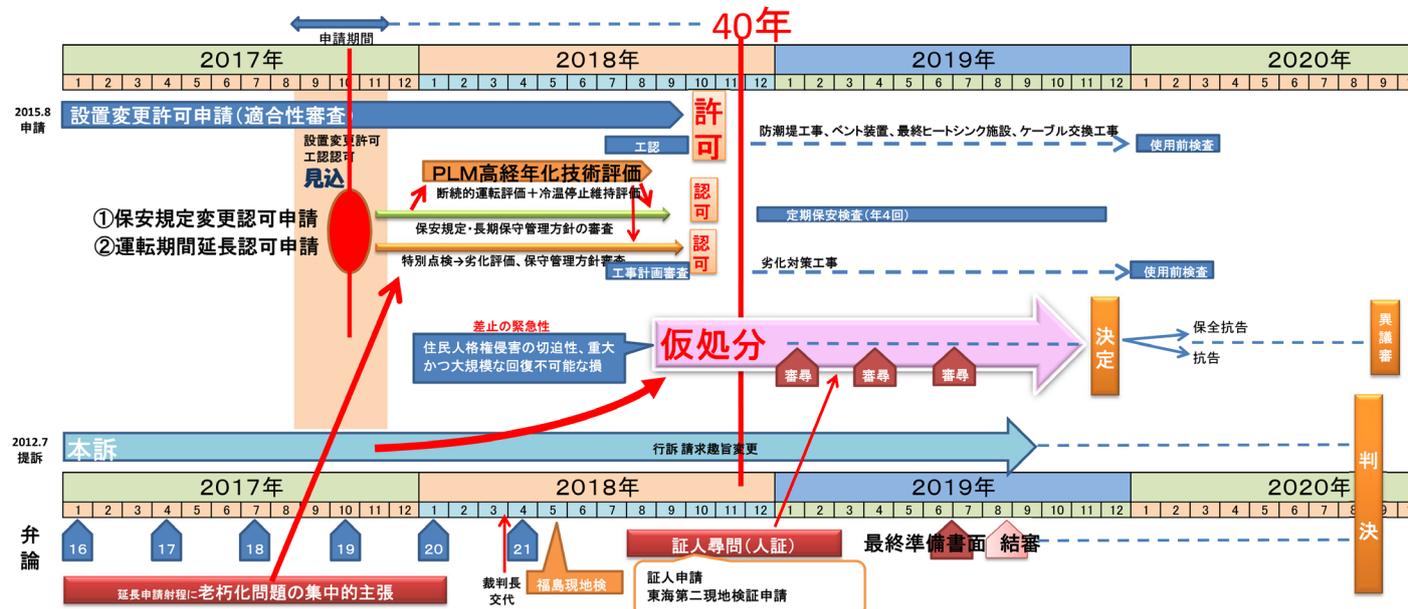
最終処分場となる(そう覚悟しておくのが普通)。

国は「UPZ(30km圏内)やUPZ外に放射性物質が及ぶような事故において、どういった放射性物質が、どれだけ、いつ放出されるかなどを事前に知るなんていうことは神話にすぎない」としてSPEEDIも役に立たないから使わないと決めた。それでも県や各市町村は「避難計画を作れ」と命じられる。30km圏外に及ぶ放射性プルームの通過に対しては規制委員会は「予測不能で防護効果は期待できない」と言う。

福島第一原発事故による賠償費・廃炉費用は21.5兆円に上る。福島市の8倍もの人口密度の地帯で事故を起こしたら損害賠償は途方もない額となる。東電の1/30にも満たない企業規模の日本原電(株)に賠償能力はない。「あとになって原発の電気を使っただろう」

### ■東海第二運転差し止め訴訟 日本原電(株)の動きと住民側の今後の主張予定

2017年3月 東海第二差し止め訴訟原告



と再び国民負担を押しつけられる。

民間の一電力会社のために国も県も市町村も原子力災害対策に普段から莫大な行政コストをかけ、住民まで大規模な避難訓練をしなければならないのは社会的コストのムダ。2011年以降、日本原電(株)の維持費は東電・関電などの電気料金に上乗せされて電気利用者・住民が負担している(間もなく9,000億円に及ぶ)。

### 燃えやすいケーブルを60年も使う

原発用のケーブルの工業規格(不燃)が決まる前の建設のため、全長1400kmにおよぶケーブルに「燃えるケーブル」が使われている。難燃ケーブルへの交換をめぐる規制委員会ともめている。日本原電は6割しか交換できないとゴネている。「ケーブル火災」は昨年11月東電新座市の35年前の送電ケーブルから出火して17時間も燃え続け都心38万世帯が停電したのが記憶に新しい。同様の古いケーブルを「交換が難しい」という理由で4割は60年使い続けると言う。これを規制委員会が許可してしまうのか注目されている。

### 自然災害にもっとも弱い原発

東海第二原発は敷地の高さが海拔8m。日本でもっとも低く(福島第一10m、福島第二12m、女川14.8m)、20mの防潮堤を作ってもなお「津波による炉心損傷確率」が最も高い原発と規制委員会より指定されている。火山災害では火山灰(赤城山の噴火)が40cm積もるとこれまでの審査の中で一番厚い。

### 危険度が極めて高い東海再処理工場が隣接

東海第二原発の7km南に「東海再処理施設」がある。ここには規制委員会を恐怖させた「高濃度放射性廃液」

が残っている。再処理施設の廃止が決定されたものの、施設が電源喪失して水素を掃気する機能が失われると60時間以内に水素爆発するため、急いで液体をガラスに混ぜて固化することを国から命じられた。急いでも17年を要するとされるが、規制基準への適合性審査は棚上げされて、津波対策も地震対策もなされていない。同じところで災害は同様に来る。再処理施設に事故あれば東海第二原発にも近づけなくなる。

### 地震で圧力容器が倒れる、老朽化で割れる

東海第二原発は270ガルの地震動に耐えられる設計で建設された。ところが再稼働申請では901ガルに耐えられると言い、規制委員会での審査では基準となる地震動は1,009ガルと引き上げられた。現在その地震動に原子炉が耐えられるのかの確認作業に入っている。

核燃料が入っている圧力容器は格納容器の中で自立(フリー・スタンディング)している。圧力容器が揺れてもよいように伸び縮みする支えがあるがストレスでは1,038ガルの揺れで壊れるとされる(クリフエッジ)。基準地震動1,009ガルに対する余裕(安全代)はほとんどない(一般の工学的設計では3~4倍の安全率を持つ)。1,038ガルの地震に見舞われた時、圧力容器は中で倒れてズレてしまい制御棒は入らず原子炉は暴走する。

長年中性子を浴びて圧力容器の鋼材はもろくなっている。緊急時の急激な冷却で割れることがある。日本製鋼材への不純物の偏りも問題となっている(フランス発)。60年使い続けた時の原子炉の評価法(脆化予測式)は見直しが命じられている。

三つのプレートがひしめき世界一地震が多い日本で原発を運転する条件はない。

回	住民側の2017年主張予定 (老朽化した原発の危険性に対する主張に集中)
第16回 (1/26)	(41) 老朽化問題主張にあたって(原告) (専門家意見書)「古い原発はなぜ危険か」(プラント技術者 筒井哲郎) (42) 応力腐食割れ(原子炉ひび)問題 (43) 被害論 (15) 水戸市も放射性廃棄物置き場と化す
第17回 (4/27)	(44) 被害論 (16) 原発事故で破壊されたコミュニティーは消滅へ (45) 老朽化 (3) 圧力容器中性子照射脆化の主張にあたって (専門家意見書) 圧力容器鋼材の脆化を正しく評価できるか(東大名誉教授 井野博満) (46) シビアアクシデント対策の不備と東海第二原発の津波への弱点 (47) 非常用電源の設計上のミス
第18回 (7/20)	(48) 日本一人口密度の高く首都に近い立地での地域に与える影響 1) 避難・屋内退避の困難と混乱 2) 莫大な経済影響 3) 県都水戸も帰還困難区域に (49) 再処理工場との複合災害の現実~複数同時災害を想定しない立地評価のどこが厳しい立地評価か (50) 難燃ケーブルへの交換を6割しか実施しない東海第二は規制基準に適合せず火災リスクが大きい (51) 圧力容器劣化を正しく評価できていない「高経年化技術評価」の審査の過失と60年運転のリスク (52) 地震動270ガルで設計された原発が今や1009ガルに耐えられるのか?
第19回 (10月)	(53) 日本一の人口地帯で万一事故あるとき日本原電には賠償能力はない (54) 「高経年化技術評価」審査には決定的過誤があり劣化を正しく評価できない (55) 初期BWR5は電源系の設計ミスがある (56) 被害論(総括的主張) 原発事故被害と人権

## 広瀬隆さんの講演を聞いて 大人の役割と責任

専務理事 伊藤

### ○日本という国と電力会社は「いのちより金」

広瀬 隆さんの講演会を初めて聞きました。

テーマは「大地震」。中央構造線が動きだした。日本の原発は耐えられるのか？というお話でした。特に地震について非常に分かりやすく、丁寧に教えて頂けたので非常事態に日本は陥っていることに気づかされました。

最初に6年前の東日本大震災の時に日本の活断層では何が起きていたのか？太平洋プレートの変動が中央構造線に影響を与え、その延長線上で熊本地震を引き起こしてゆく。中央構造線上に伊方原発－川内原発が位置していることなど、メディアでは決して取り上げる事の無い情報がたくさん聞きました。

広瀬氏は言いました。「原発があるところには活断層がなくなるんだよ」自分にはこう聞こえました、それが日本という国家であり、電力会社という組織なのだ。利益を阻害するものは、自然に発生してできた状況を拒絶し、無かったことにして、国民に「安全ですよ」などと簡単に言ってしまうのだと感じました。

### ○海外協力者の犠牲

原子力空母ロナルド・レーガンの乗船員が福島原発事故の時に除染作業にあっていたため大量に被爆し、昨年までに甲状腺、癌腫瘍、震え、内出血、脱毛などきわめて深刻な被爆症状に襲われ、250人以上が病気で苦しみ、骨髄腫や白血病で、すでに7名が死亡しているという事実。日本人はこのことを知らない、なんとも思わないなんてことには出来ない。私たちの国土のために犠牲になった他の国の人がいる事、放射性物質を地球上にまき散らして汚染させてしまった事に対し、反省していかなければいけない。

### ○日本は地震大国

阪神大震災、新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震、その後も震度5強の地震が続いているのが今の日本の現状。大きいキッカケは6年前の東日本大震災である。活断層が大きく変化したことによって、日本のみならず世界でも大きく歪みが出ている。特にいままで地震の無かったフランスや、韓国で起きた地震はあり得ない事が起きた。これによって予想できることは太平洋プレートとユーラシア・プレートの地殻が変動し持ち上がっているのではないかとこの事も考えられる。広瀬氏はこの激動期は少なくとも半世紀は続いていくと言う。特に日本は桜島の噴火が止まっていることから、地殻変動が今後中央構造線を中心に続いていくと予想している。

### ○原発再稼働の怖さ

川内原発は沖合6キロ活断層がある。電力会社によれば、ここは活断層が無い。とされているが、その近くまで中央構造線があるのにそこで切れるわけがないという事は子どもでも分かる事。メディアでは取り上げない。伊方原発に關

しては中央構造線上に位置している所にある。こうした重要な情報は隠して、安全神話を作り、国民をだましている状況のまま原発は再稼働されようとしている。



### ○原発の耐震性の危うさ

松田時彦氏の出したマグニチュードと断層の長さの関係式には大きな欠点がある。これは目安に使うぐらいの式であり、同じ断層の長さでもマグニチュードの大きさが変わってくるなど、想定できる。しかも事実起きている時点で、この式を使って耐震性があるなどと言っている原発関係者はとんでもない事だと感じた。しかし、事実九州、四国電力でも同じ計算式を使用し耐震計算をされている。しかもこれは、あくまで横揺れであり、直下型が来ることなどまったく考えていないリスクマネジメントだ。

### ○再稼働でも核燃料の廃棄はどうするの問題

再稼働しても一番問題となっている点と、東海第二を再稼働させない、廃炉にする目的はここにある。東海第二には再処理場がある。再処理場がもしも地震や津波でやられてしまったら、日本は壊滅してしまう事になる。しかもこれ以上貯蔵できない98%以上も埋まっている状態なのだ。現在国や電力会社はすべての使用済み核燃料をすべて六ヶ所村に送ろうとしている。全国の廃棄核燃料を一か所に集めることなど危険で、無理な話です。無理な事をするためなのか!? 廃棄核燃料を並べる間隔を狭くし、倍の量を貯蔵しようとしています。そうすると今度は、少しでも地震などで揺れて倒れたら隣の核燃料同士がぶつかって核爆発が起きてしまうリスクがある。使用済みとはいえ、自然界にある放射性物質と比べると桁違いに高密度であり、完全になくなるまでは100万年はかかると言われています。アメリカでは核における研究をしているときから一番の課題は処理の仕方であり、一番重要としてきており、解決策として再燃料化して使いまわすサイクルにするしかないと判断してきました。そんな厄介なエネルギーを原発を再稼働してまたサイクルしていこうというのか。

### ○講演を得て

今迄なんとなく知らなかったことが、どどどーと知る事が出来て非常に勉強になった。広瀬氏のエネルギーの素晴らしさは核エネルギーの比にならない。国家と電力会社のリスクマネジメントの低さと、国民に対しての無責任さが非常に良く解かった。「食」の問題にも共通しているが、大事なことは公にならない為、自分が知ったことは少しでも多くの人へ発信していく事。知らない怖さ、知る事の勇氣、行動が今後大切で、自分たちの子供に何を残せていけるかが大人の役割で、責任だと思います。(専務理事 伊藤博久)

## 組合員、生産者、職員の広場

### 〇とても美味しかったです。

いつもお世話になっています。天領食品の桃色の甘酒。とてもおいしかったです。また、他の種類の甘酒もよろしく願います。

(守谷市 永仮さん)

### 〇質問です。

春新キャベツどうして常総では入ってこないのでしょうか？ 3/2回439ポンカン1ヶダメ。前回よりかなり味が落ちてました。467田中のトマトあまりおいしくなかった。

(取手市 佐藤さん)

ご意見ありがとうございます。

春キャベツの件ですが、病気や虫が付きやすく、また、トウ立ちしやすいという理由から生産者が作付けしていない状態です。寒玉（企画している物）は病気や虫がつきにくいので、こちらを生産しているそうです。今後、生産者との作付会議の場で、組合員からの要望がある事をお伝えし、実験的にでもチャレンジしてもらえるか？掛け合ってみます。ポンカンの件では終盤という所で傷みやすくなってきており、傷んでしまったものが届いてしまい申し訳ありません。値引き対応とさせていただきます。柏田中のトマトはこれから味がのってきて完熟具合も良くなってきますので、ご期待下さい。

(商品部 小宮山)

### 〇レシピセット有りがたいです。

お世話になります。レシピセット、有難いです。仕事が忙しい時献立を考えずに済むのでとても助かります。最近夫も食事作りを一緒にしています。今度、簡単レシピセット、トライするそうです！

(龍ヶ崎市 田部さん)

ご意見ありがとうございます。

レシピセットは毎週カタログと、「職員のおすすめ商品」チラシの裏面に掲載されています。1つの番号でレシピ掲載主要な商品複数注文できます。少しでも組合員の皆さんが利用しやすくなるために作りました。組合員さんの中でもレシピセット掲載していいよという料理提案がありましたら、是非教えて下さい。注文書、ネット注文ページのご意見欄にご記入、入力お願い致します。

(商品部 小菅)

### 〇商品の質問

随分以前に買って使っていなかった二重保存鍋のため

しに大豆の五目煮(?)を作ってみたら、おいしいうえ簡単にできました。大豆は今度いつ注文できますか？小あじの南蛮漬け、最近ないですネ。あじの南蛮漬け家族で大好きで、ずっと待っています。しばらくでないのですか？

(龍ヶ崎市 奈良さん)

ご意見ありがとうございます。

大豆に関しては300gでの企画が毎週掲載されています。注文番号は580固定番号です。あじの南蛮漬けは4週間に1回の企画となっております。4月3回で掲載されていたので、次回は5月3回の掲載予定となっております。宜しくお願い致します。

(商品部 丸山)

### 〇想いが感じ取れるコラムは良い。

伊藤さんの「なんだ、ここは?!」3・20さよなら原発集會に参加して、とてもよかったです。それぞれのいろんな想いが話せること、聴けることそしてそこから湧いてくる想い。大切にしていけるといいなあ。と思います。伊原さんのコラムも楽しみに拝見しています！

(松戸市 川上さん)

### 〇楽しい Newsletter

いつも楽しいニュースレターをありがとうございます。伊原さんのブーブー日記母豚の移動のことが書いてありましたが、写真からも文からも「虐待」を思わせる描写は感じられず、(きっとお尻たたきながら歩かせているんだと思いますが)のどかに3匹とデートしているような面白い写真でしたね。私も岩瀬牧場のお手伝いに行つて、豚のお尻をたたいてみたことがあるのですが、結構しまっていて固い、首輪をしないう大きな動物に動いてもらう大変さ、体験できました。合同会社、追い風がふきますように。

(守谷市 板子さん)

### 〇担当者 News 楽しく読みました♪

■ウエダさんのマリンパークの記事楽しく読ませて頂きました。私は山登りが好きで今年の1月に三浦富士に登り帰り仲間と三崎港でまぐろ定食を食べて帰ってきました。おいしかったです!!これからも楽しい話、待ってま〜す。■しょうゆもろみ、おいしかったです!!マヨネーズとまぜ、キューリ、人参スティック食べてます。

(守谷市 倉持さん)

## 2016年度 第11回定例理事会報告（理事長 柳町）

6月開催の総代会に向けて、提出議案が決まりました。

2017年度予算、計画について、供給高前年比104%「仲間づくり」540名、組合員純増250名を目標とし、利用単価、利用率は落とさない方針で提案し、承認となりました。供給剰余での黒字化させていく事が直近の課題とし、総代会までの要検討事項としていく。

2016年度は様々な活動が活発に行われましたが、反省すべき点もあり来年度の課題として確認されました。春の組合員討議資料は約400件の提出がありました。

今年は質問項目が多かったため最後まで回答されていないものが見受けられました。またWEB上に掲載したが、WEB上からの回答は少なく、今後ホームページやSNSについてのアプローチ方法も課題となった。

総代告知にて各地区の目安人数に間違った記載があったため、ニュースレターにて訂正告知をしていく事が報告された。4月は地区懇談会にて常任理事が討議資料のアンケート結果を持って、各地区巡回し、総代、組合員の声を聴いていく事を報告されました。

2017年3月29日(水)10:05～13:05

### 【協議検討事項】

- 【第1号議案】第44回通常総代会召集並びに提出議案の件
- 【第2号議案】2017年度予算案について
- 【第3号議案】2016年度活動のまとめと事業まとめの件
- 【第4号議案】春の組合員討議資料の件

### 【報告事項】

- 1) 総代選出状況と地区懇談会
- 2) わんぱく・じょうそう社員総会報告と今後の展開について  
(生産者支援基金の経緯説明と、岩瀬牧場法人化の経過説明)
- 3) 印西市署名提出報告
- 4) 3月事業報告
- 5) その他

## 今週の仲間づくりコラム（常勤理事 矢島）

2016年度は組合全体で「仲間づくり」を強化してきました。春の組合員討議資料アンケートでは仲間づくりに対して、行商、朝市など楽しい仲間づくりの手段が良かったとのご意見をいただきました。一部抜粋してご紹介させていただきます。

### ～春の討議資料アンケートの中でのご意見～

- 行商は手間がかかりますが、地域の人に再認識してもらうのに適していると思います。どこで、いつ、何を売るのかを事前にチラシで宣伝しておくの良いと思います。
- 食材を使つての料理講習会は組合員の人柄にふれることができ、お話した方からも好印象でした
- ゴンタの丘や行商、アウトドア試食会など、常総生協らしさが出ていて、とても良いと思います。いつも自信たっぷりで堂々としている人には、魅力を感じるものです。
- 同じ年頃の子を持つお母さん仲間で、食べ物はもちろん、環境、健康、etcに興味を持つ方に積極的にセールスして加入してもらえました。

- 生協で学んでいる事やニュースレターに載せている事を仲間づくりの際に伝えていく



と良いと思います。

- 小さい子を持つ親向けのイベントがあると入り易いかも。生協＝割高と考えてる人が多いので、そんなに高くないことをアピールしてみてもは。
- 朝市や行商など楽しい仲間づくりが良かったです
- 公園で常総生協の食べ物の試食会をやっていたのが良かったと思います。やはり実際に食べてもらうのが一番。
- 食育、本物の味を子どものうちから体験できるイベントは大切だと思います。
- 放射能測定に力を入れていることをもっと宣伝すれば良かった。
- 組合員、職員とのリレーションが良く取れていて、各地でのイベント参加が増えたのが良かったと思います。
- 生協祭りに幼稚園のお母さんたちも来ていました。すすめられる食べ物があって、イベント型なので行きやすいのだと感じました。



2017年度も「楽しく仲間づくり」を継続致します。地域の人たちに常総生協を知ってもらいましょう。